

辻信一氏記念講演「slow is beautiful」

「僕達は、少なくとも 300 年に一度の大変な時代に生きているという気がしてならない。」というお話で始まった辻氏の講演。鍵となるのは「ある問題を引き起こしたのと同じマインドセット（凝り固まった考え方）でその問題を解決することはできない」というアインシュタインの言葉です。「豊かさ」とは一体何なのでしょう？



環境危機を止められない抗いがたい魅力、「豊かさ」。僕達は「豊かさ」を測る「経済成長」という概念にとらわれてきました。「豊かさ」の要因の 1 つである化石燃料が、「永久に続き、安くやりとりできる」という考えを「豊かさ幻想」と呼びます。しかし、必ず需

要に供給が追いつかなくなる時が来て、もしそれが先に伸びたとしても、地球温暖化が起こる。「豊かさ」が幻想であることは明らかです。私達の時代は「経済成長」と「幸せ」を一緒にして考えてきましたが、「豊かさ」と「幸せ」を混同してはいけないとは昔から言われています。今、この幻想から抜け出し、「幸せとは何か？」という非常に基本的な問いに立ち返ることが必要になっているのです。

「Slow is Beautiful」「スローライフ」…「スロー」を直訳すると「ゆっくり」ですが、僕は「つながり」だと言いたい。人間と自然のつながり、他の人間とのつながり、自分自身とのつながり。つながりを意味あるものにするために時間が必要なんです。現代人は、つながりを失う人達がものすごい勢いで増えていて、僕はこれを「弱さ」と呼びたい。しかしそ



メモをとりながらお話を聞く参加者もいました。

の弱さこそが私達の力です。一人一人はささやかな存在であっても、お互いに助け合い、補い合って生きることができるからこそ人生は楽しく、価値がある。幸せになれるとすればそれは「豊かさ」。豊かなのは弱さのお陰かもしれません。

最後に辻氏は、アマゾンの探検隊の話の後、こんな言葉で講演を結びました。

「私達はしばし立ち止まって、置いてきてしまったものが追いつくまで待ち、それが追いついてきたら、今度こそそれを置いてけぼりにしないくらいのゆっくりとした足取りでまた歩いていけばいいのではないのでしょうか？」

アマゾンの探検隊のお話

アマゾンの探検隊が道案内と荷物運びのために先住民を雇った。ある所で座って休憩し、探検隊が「出発だ」と言ったが先住民はどうしても動かない。2日経つと、先住民はぼっと立ち上がり歩き始めた。探検隊が先住民にその理由を聞くと、先住民が答えた。

「我々はあまりにも先を急ぎすぎて、魂を置いてきてしまった。魂が追いついてくるのを待っていたんだ。」

キャンドル作り

来場者に、使用済みウェディングキャンドルで作った手作りキャンドルをプレゼントし、6/21 夏至のキャンドルナイトへの参加を呼びかけました。

このプレゼントキャンドル作りはボランティアを募集して行い、フローティングキャンドルを 400 個、計 200 セット作成しました。



oO Special Thanks oO

♪キャンドル提供♪パレスへいあん
 ♪キャンドル作成指導♪ ITO AYA 氏
 ♪ボランティアの皆さん♪
 キャンドル作成 10 名、総会当日スタッフ 11 名
 ♪ブース出展♪ (順不同)
 株式会社エクシード様、株式会社サイコー様、
 食育 NPO「おむすび」様、由利設計工房様、
 曹洞宗長泉寺様、NPO 法人気候ネットワーク様